

部落解放研究関係文献目録

(一九八一年一月～三月)

美馬敏男先生退職記念誌』所収、美馬敏男先生退職記念誌出版委員会、3月)

大分県同和对策総合実態調査委員会『ODR総合調査報告書』

(同上、3月)

東京都産業労働会館『かわとはきもの』№35(同上、3月)

渡辺久丸『一九七九年現状・行政研究の成果と課題』

(『部落問題研究』六六号、1980年12月)

鏡豊『差別』の指標の分析―部落問題全国会議の調査報告の検討を通して』(『部落問題年報』二二号、1980年12月)

木岡靖司『関東地方の未解放部落について』(同右)

東京都産業労働会館『かわとはきもの』№34

(同上、1980年12月)

【行政】

大原 亨『部落差別撤廃のための総合立法―部落解放特別措置

法』社会党第一次案』(『部落解放』一五九号、1月)

原田伴彦『特別措置法』強化改正について』(同右)

【現状】

小森竜邦・吉田勝男『部落の環境と総合計画』

(『部落解放』一六〇号、1月)

藤沢喜郎・錢本三千年『部落の生活の現状と社会保障―国際障害

者をまよえに』(同右)

野本勝彦・柴山恵美子『部落の労働の現状と仕事保障―婦人・中

高年の雇用促進をいかにすすめるか』(同右)

川口正志ほか『部落産業の現状と課題』(同右)

花岡照雄・竹下義喜『農漁村部落の現状と課題』(同右)

部落解放研究所中高部会『高校生の部落問題意識実態調査の分

析』(『部落解放研究』二四号、2月)

林 力『日本最南端の荆冠旗―種子島の被差別部落』

(『部落解放』一六一号、2月)

部落解放中央共闘会議『部落解放基本政策樹立要求国民調査報告

書』(同上、2月)

藤本恵功『被差別部落の現状と問題点―高知市の場合』(『喝―

(資料)『部落解放特別措置法要綱(第一次案)』(同右)

新川泰男『半農半漁の町を守りぬいて―高知県香川市佐喜浜の十一年』(『部落』四〇一号、1月)

中西義雄『(動向)運動・同和对策事業特別措置法をめぐる状況』(同右)

瀬川負太郎『人別行政の固定化はゆるせない―同特法再延長をめ

ぐる』(『月刊部落問題』五〇号、1月)

大阪市職員労働組合同和对策部支部『部落解放のセンターとして

の解放会館のあり方をもとめて―第一八年度全国自治研集会報告・その後のとりくみ』(『月刊自治研』二五六号、1月)

広島県府中市職員労働組合『府中市の同和行政の現状と課題』

(同右)

内田雄造『同和地区の環境改善整備計画・事業に関する研究』

(『部落解放研究』二四号、2月)

小畑雅裕『過疎地域振興特別措置法について』(同右)

《特集》『同和行政を見直そう―個人施策のあり方を中心として

(第二三回入権と部落問題講座報告)』

(『部落』四〇二号、2月)

堀部迪雄『大津市における同和对策事業個人施策の見直しに

ついで』

鈴木 元『京都における行政実例報告を中心に』

末永弘之『土地改良総合整備事業すすむ―岡山県津山市日上地区

の土地利用について』(同右)

川嶋重信『(動向)研究・シンポジウム・同特法の総括とこれか

らのヴィジョン―第18回部落問題研究者全国集会から』

(同右)

横山和夫『(変わりゆく部落)神戸上池地区の現況(3)―環境

改善の問題と今後の課題』(『月刊部落問題』五一号、2月)

部落解放研究所『財団法人大阪同和産業振興会十周年史―新大阪

タクシー十年のあゆみ』(大阪同和産業振興会、2月)

寝屋川市職員労働組合『寝屋川市の同和行政―現状と今後の課

題』(同上、2月)

部落解放研究所行政・経済部門事務局『同和对策事業特別措置

法』の強化改正、『部落解放基本法』制定にむけて』

(『部落解放研究』二五号、3月)

杉之原寿一『同特法』再延長をめぐる論議』

(『部落』四〇三号、3月)

亀田順一『社会党の『法案要綱』(第一次案)批判(1)』

(『月刊部落問題』五二号、3月)

社会党部落解放推進特別委員会『同特法』の抜本的強化改正を

実現しよう』(『地方政治』二五二号、3月)

渡辺久丸『一九七九年現状・行政研究の成果と課題』

(『部落問題研究』六六号、1980年12月)

【運動】

《あいつぐ差別事件》(『部落解放』一五九号、1月)

部落解放同盟大阪府連合会『解放会館前にファッショ的差別

張り紙―大阪・生江差別張り紙事件』

部落解放同盟岡山県連合会「自衛隊の差別体質を糾すー岡山
・日本原自衛隊員差別発言事件」

部落解放同盟東京都連合会品川支部「解雇撤回と差別糾弾の
共同闘争ー東京・東京電波差別発言事件」

部落解放同盟京都府連合会「反マル生闘争になげつけられた
差別投書ー京都・山科郵便局差別投書事件」

上杉佐一郎「八〇年代の部落解放運動の課題ー本研究集会の意義
と課題」(『部落解放』一六〇号、1月)

村越末男「被差別部落の実態と部落解放運動の課題」(同右)
上杉佐一郎ほか「部落解放と共同闘争の現状と課題ー地域共闘を
発展させるために」(同右)

朝田ハルエ・李実根・杉山千佐子「部落の戦争体験と平和闘争」
(同右)

西岡 智ほか「狭山再審闘争と司法反動との闘い」(同右)
木津 謙ほか「差別事件の実態と糾弾闘争ー『地名総鑑』糾弾と
あいつぐ差別事件」(同右)

上田一雄ほか「『特別措置法』強化改正と『基本法』制定」
(同右)

友永健三「『部落地名総鑑』差別事件の現状と課題」
(『解放教育』一三二号、1月)

(資料)「(国会闘争)日本は軍力でまもれる国でないー防衛
・憲法問題等で政府を追及」(同右)

鎌元昌弘「狭山裁判の『真実』について考える10ー総合評価につ
いて(その2)」(同右)

杉之原寿一「(ふんすい)マスコミの『解同』タブーに変化か」

(『月刊部落問題』五〇号、1月)

今田 保「(高知からの通信)荒れる土佐の海ー不法許さず全解
連が示した『勇氣と英断』」(同右)

(資料)「国民融合兵庫県会議第5回総会方針」(同右)
《特集》「部落解放闘争の推進について」

(『月刊自治研』二五六号、1月)
若林清太郎「自治労運動と部落解放のとりくみ」

上杉佐一郎「部落解放闘争の現状と当面の課題」
渡辺 徹「自治研部落解放分科会活動の総括」
隈元寅教「部落解放中央共闘会議の活動状況」

自治労兵庫県本部北淡町職員労働組合「地域共闘会議の結成
経過と取り組みについて」

自治労鳥取県本部東伯町職労「部落解放推進東伯町共闘会議
の結成と経過について」

上杉佐一郎「八〇年代の部落解放の展望」(『第五回部落解放西
日本講座講演集』所収、部落解放研究所、1月)

日高六郎「軍国主義と差別」(同右)
大原 享「『同対審』答申一五年と『特別措置法』強化改正」
(同右)

上杉佐一郎「八〇年代の部落解放運動」(『第五回部落解放東日
本講座講演集』所収、部落解放研究所、1月)

磯村英一「『同対審』答申一五年と『特別措置法』強化改正」
(同右)

解放新聞社「解放新聞(縮刷版)』第九巻(同上、1月)

部落解放同盟大阪府連合会・「同対審」府民共闘会議「府政推進
に関する要求事項」(同上、1月)

部落解放愛知県共闘会議「部落解放共闘第五回総会議案」
(同上、1月)

国民融合をめぐる部落問題全国会議「国民融合通信」№80
(同上、1月)

狭山中央闘争委員会『原点にかえて』(狭山差別裁判第八六
号)(同上、1月)

部落解放同盟福岡県連合会「部落解放第十六回福岡県婦人集会」
(同上、1月)

鎌元昌弘「狭山裁判の『真実』について考える11ー総合評価につ
いて(その3)」(『解放教育』一三三号、2月)

岸上繁雄「公正な同和行政への大きな転換へー『窓口一本化』裁
判和解の意義と特徴」(『部落』四〇二号、2月)

中村文明「全面否定された木下あいつぐ状の差別性ー断罪された
『解同』の『差別論』」(同右)

成沢栄寿「(動向)運動・国民融合をめぐる部落問題全国会議第
六回総会開く」(同右)

吉田 栄「(動向)行政・新局面をむかえた八鹿高校事件裁判」
(同右)

野間 宏「狭山裁判(第六一回)ー再審棄却決定批判」(10)「
(『世界』四二三号、2月)

村越末男「マスコミと部落問題」

(『マスコミ市民』一五五号、2月)

大賀正行「最近の差別事件」(『解放運動よりみた日本の現況
〈同和研修会記録Ⅲ〉』所収、真宗大谷派大阪教区同和協議
会、2月)

第二回部落解放徳島地方研究会実行委員会「第二回部落解放徳
島地方研究会(討議資料)』(同上、2月)

上杉佐一郎「部落解放の原点」(解放出版社、2月)
「同和対策事業特別措置法」強化改正要求国民運動中央実行委員
会「全国のあいつぐ差別事件」(同上、2月)

部落解放同盟大阪府連合会婦人部「十年のおもいでー婦人部結成
十周年記念誌」(同上、2月)

部落解放同盟東京都連合会「部落解放第十二回東京都研究会集
(討議資料)』(同上、2月)

部落解放同盟栃木県連合会「部落解放第十二回東日本研究会報
告書」(同上、2月)

国民融合をめぐる部落問題全国会議「国民融合通信」№81
(同上、2月)

狭山中央闘争委員会「八一年をどうたたかう」(狭山差別裁判第
八七号)(同上、2月)

Buraku Liberation Research Institute "BURAKU LIBE-
RATION NEWS" №1 (同上、2月)

友永健三「全国各地のあいつぐ差別事件ーその紹介・分析と克服
の方向」(『部落解放研究』二五号、3月)

牧野繁美「兵庫県政下の行政闘争の課題」

(『ひょうご部落解放』創刊号、3月)
 難元昌弘「狭山裁判の『真実』について考える(最終回)―真実は必ず勝利する」(『解放教育』一三三号、3月)
 川口 是「憲法と人権―情勢の特徴と改憲問題」(『部落』四〇三号、3月)

中西義雄「部落解放運動の着実な前進(上)」(同右)
 (資料)「部落問題をめぐる主な動き」(同右)

岡田雅一「(動向)運動・解同の教育介入から旭ヶ丘小を守る闘い(中間報告)」(同右)

長田 悟「(動向)行政・全解連岡山市協に対する不当弾圧事件について」(同右)

戸谷茂樹「矢田民事高裁判決に寄せて」(『月刊部落問題』五一号、3月)

今田 保「(高知からの通信)荒れる土佐の海(最終回)―窪川に原発ゆるすまじ」(同右)

小森龍邦「東洋工業との交渉における今日の問題点」(『解放運動と同和教育』二五九号、3月)

野間 宏「狭山裁判(第六二回)―再審棄却決定批判(11)」(『世界』四二四号、3月)

友永健三「(同和对策事業特別措置法)の強化改正は労働者の課題」(『月刊総評』二八〇号、3月)

部落解放研究所「部落解放年鑑」へ一九七七年版(同右、3月)
 部落解放同盟中央婦人対策部「解放をめぐる婦人活動(部落解放第25回全国婦人集会報告書)」(部落解放同盟中央本部、3月)

部落解放第十回京都府婦人集会実行委員会「部落解放第十回京都府婦人集会報告集」(部落解放同盟京都府連合会、3月)
 部落解放同盟中央本部「部落解放同盟全国支部長研修会」(同右、3月)

国民融合をめぐる部落問題全国会議「国民融合通信」No. 82(同右、3月)

狭山中央闘争委員会「闘争と弾圧」へ狭山差別裁判第八八号(同右、3号)

《特集》「東日本の部落解放運動」

「東京部落解放研究」二二・二四号、1980年12月
 部落解放同盟関東ブロックオルグ隊参加者「(座談会)東北の被差別部落をまわって―東北の部落の実状と運動の可能性」

「第34回部落解放同盟群馬県連大会議案書」

「第33回部落解放同盟長野県連大会議案書」

「第28回部落解放同盟埼玉県連大会議案書」

「第20回部落解放同盟東京都連大会議案書」

「第8回部落解放同盟栃木県連大会議案書」

「第7回部落解放同盟神奈川県連大会議案書」

「第4回部落解放同盟千葉県連大会議案書」

「第4回部落解放同盟茨城県連大会議案書」

部落解放同盟福岡県連合会「第三一(回)定期大会議案書」(同右、1980年8月)

部落解放同盟広島県連合会「中国電力差別図書購入差別事件真相」(マルジニ社、2月)

部落解放研究所「八〇年度活動報告と八一年度研究課題」

「部落解放研究」二五号、3月
 事務局「部落解放研究関係文献目録」(同右)

鶴嶋雪嶺「日本経済の体質と部落問題」(『ひょうご部落解放』創刊号、3月)

《特集》「一九八〇年部落問題の成果と課題」(『部落』四〇三号、3月)

馬原鉄男「身分問題をめぐる研究の動向」
 小森龍邦「長州藩『屠夷隊』と東洋工業の身元調査の類似性」

(『解放運動と同和教育』二五八号、3月)
 師岡佑行・大賀正行・沖浦和光「部落解放理論の創造に向けて」(解放新聞社、3月)

藤谷俊雄「解放の展望へ前進」(『部落問題研究』六六号、1980年12月)

【解放教育】

松崎 一「全国解放保育連絡会結成によせて」(『部落解放』一五九号、1月)

松崎一・太田宗一「就学前教育の現状と課題」(『部落解放』一六〇号、1月)

梅原達也・入田谷貞宏「小・中学校と子ども会の課題」(同右)

村越末男・花田啓作「高校・大学教育と擬学生生活の課題」(同右)

報告集(同右、1980年9月)
 部落解放大阪府民共闘会議「教育―平和・人権を未来につなぐ」(同右、1980年12月)
 のちとくらしを守る会・部落解放大阪府民共闘会議・部落解放同盟大阪府連合会「教科書無償」打ち切りをめぐるすな(教科書問題資料)(同右、1980年12月)

【理論】

渡辺俊雄・大賀正行「部落史研究と部落解放理論の諸問題」(『部落解放』一六〇号、1月)

田中欣和「(図書紹介)師岡佑行著『戦後部落解放論争史』第一巻」(『解放教育』一三二号、1月)

馬原鉄男「(動向)研究・部落問題の戦後論」展開のために―第18回部落問題研究者全国集会基調報告・真田是「日本の民主主義と部落問題研究の課題」をめぐって」(『部落』四〇二号、1月)

藤谷俊雄「戦後の部落問題研究」(部落問題研究所、1月)
 青木秀男「部落差別の概念的把握をめぐる―マイノリティ・グループ論の適用を通じて」(『部落解放研究』二四号、2月)

編集部「部落解放研究関係文献目録」(同右)
 小森龍邦「部落解放理論」三つの命題「に関する新しい考察」(『解放運動と同和教育』二五六・二五七合併号、2月)

磯村英一「地方の時代の視点」(『世界政経』七六号、2月)
 今野敏彦「見えざるこころ―脱差別論への試み」

《特集》『進路保障』その内実はなにか

(『解放教育』一三二号、1月)

中野陸夫「進路保障における職業訓練校の問題」

宮田 昭「筑豊の友・教師へ」

大阪市立中島中学校三年教師集団「受験競争のはざまで一集

中受験運動でかわった子どもたち

福永洋「学校につなぐ」

坪井恵子「なかまと共に歩む子ら」(同右)

常塚義一「なやみつづける教師に期待して」第一〇回全国解放教

育研究集会から」(同右)

奥名文入「出会いさまざま―部落解放研究第一四回全国集会にて」

(同右)

《特集》『文学読本』はぐるま」と人権の教育」

(『部落』四〇〇号、1月)

佐古田好一・岸本裕史・河野幹雄・本多公米」(座談会)

『自由新報』の不当な攻撃と『はぐるま』」

西郷竹彦「文芸における美と真実」

《特集》『大学における同和教育』(『部落』四〇一号、1月)

東上高志「いま大学で同和教育は―大学の同和教育内容につ

いての問題提起」

井口和起ほか「第四回大学における同和教育をめぐる懇談会」

杉之原寿一「大学における同和教育の現況―アンケート調査

結果の概要」

東上高志「講座・これからの同和教育8―部落問題の学習(その

5) 中学校」(同右)

《特集》『文学読本』はぐるま』」

(『月刊』の子も伸びる』四四号、1月)

佐古田好一「真実の教育に毒矢を向けるもの―『はぐるま』

に対する『自由新報』の第二次攻撃」

東上高志「物語・戦後同和教育三〇年(連載第四三回)―西滋勝

と『解放教育』批判」(同右)

《特集》『保育の共同化と社会化』(『はらっぱ』十四号、1月)

岩出恵美子「同和」保育運動(1)―親と共に人権に取り組み」

部落解放同盟奈良県連幸町支部・御所市同和教育研究会」

同和」保育運動(2)―差別と闘う保育をめざして」

兵庫県南武庫之荘保育所「同和保育の現場から①―狭山の取り組

み」(同右)

川向秀武「同和」教育運動の遺産の継承を」

(『現代教育科学』二九〇号、1月)

谷内照義「戦後同和教育の歴史と課題」(『第五回部落解放西日

本講座講演集』所収、部落解放研究所、1月)

田中欣和「解放教育論再考」(拓植書房、1月)

高知県教育委員会高等教育課「高等学校同和教育資料」No. 13

(同上、1月)

《特集》『民主教育の創造と部落問題』

(『部落問題論究』五号、2月)

森垣 修「郷土に生きるすばらしさを子どもたちに」

大野 正「学校とは夢と希望の実現めざしがんばるところ」

三枝正雄「みんながやる気をおこす学級集団めざして」

杉尾敏明「学校同和教育方針論考」

斉藤浩志「同和教育の原理」

《特集》『読書を育てる』

(『月刊』の子も伸びる』四五号、2月)

大谷猛夫「中学校・地理教育における人権学習について」(同右)

東上高志「物語・戦後同和教育三〇年(連載第四四回)―杉山明

男とはぐるま研」(同右)

中村拓三「子どもたちからの提言―社会の底辺について」

(『現代教育科学』二九二号、2月)

川向秀武「(書評)元木健・村越末男編『同和』教育論ノート」

(同右)

玉田勝郎「『地獄の桃源』・理念の架空性と抵抗感覚の弛緩―林

竹二の〈夢〉は俗情を浄化しうるか」

(『インパクト』十号、2月)

同和教育資料作成委員会『高知市同和教育資料』

(高知市教育委員会、2月)

全国解放教育研究会『「にげん」実践の展開Ⅲ―小学校高学年

指導事例集』(明治図書、2月)

第一回北九州市同和教育研究大会実行委員会『第一回北九州市同

和教育研究大会要録』(同上、2月)

「すいしん」編集委員会『正和のこと、してきたこと』へ機関誌

「すいしん」No. 10(住吉同和教育推進協議会、2月)

《特集》『地域が教育をどうつくったか』

(『解放教育』一三三号、3月)

森山沾一「地域社会の教育力とは何か」

村上通哉「バラにはバラの花は咲くが……」パートⅡ」

藤井雅信「Jのギターと村の会衆」

香美地区実践グループ委員「保育者が得た新たな出発点―幼

い「からだ」と「ことば」そだての取り組みから」

寺沢亮一「青年たちのたしさを―奈良・岩崎支部のとりく

みのなかで」

蔵本穂積「燃えよ青年」

大森玉保「一枚の絵から―共同製作『しはてん』の取り組み」

(同右)

中村拓三「子ども会入門3―子ども会の態勢」

(『解放教育』一三三号、3月)

東上高志「八〇年代の部落問題と同和教育―国民的連帯の輪をひ

ろびよつ」(『部落』四〇三号、3月)

岩辺泰史「(動向)教育・密室の退行」教研全国集同人権教育

分科会報告」(同右)

《特集》『地域の教材化』

(『月刊』の子も伸びる』四六号、3月)

東上高志「物語・戦後同和教育三〇年(最終回)―小川太郎と同

和教育の探求」(同右)

鈴木祥蔵「戦後教育思想批判(最終回)―能力主義克服のために

(6)」(『現代教育科学』二九二号、3月)

上田一雄「第30次教育研究全国集会―第18分科会・人権教育」

〔『教育評論』四〇三号、3月〕
徳島県那賀川町教育研究所「同和教育の部」

〔『研究紀要』七集、3月〕

内山一雄「識字運動—そのめざすもの」

〔『天理大学学報』一三〇号、3月〕

大阪教育大学同和教育研究センター「同和教育研究論集(Ⅲ)」

(同上、3月)

光市・光市教育委員会『ひろば(歴史編)』(同上、3月)

全国解放教育研究会『「にんげん」実践の展開Ⅰ—小学校低学年

指導事例集』(明治図書、3月)

全国解放教育研究会『「にんげん」実践の展開Ⅱ—小学校中・高

指導事例集』(明治図書、3月)

大阪同和教育推進校実習生組合「解放教育の担い手をめぐりて」

〔『活動報告集』(同上、3月)〕

菅原辰蔵「同和教育と私の時代(下)」

〔『新潟県部落史研究』三三号、1980年5月〕

三好昭一郎「香川県における融和教育の展開」

〔『四国学院大学論集』四六号、1980年7月〕

奈良県解放教育研究会『むなつき坂を越える』(奈良県解放研通

信№2) (同上、1980年7月)

大阪府同和教育研究協議会『第22回信貴山研実践報告集』

(同上、1980年8月)

文部省「昭和五十四年度全国同和教育研究協議会記録」

(同上、1980年9月)

〈特集〉「熊本県同和教育史」

〔『熊本県未解放部落史研究』五集、1980年10月〕

大家正文「熊本県同和教育略史(一)」

樋口輝幸「高等学校における『同和』教育のあゆみ(その一)

—進路保障のとりくみ(1)」

熊本県立熊本工業高等学校『高等学校同和教育資料集』

(同上、1980年10月)

全国同和教育研究協議会『資料・部落問題を解決していくうえで

の教育上の諸問題と課題について』(同上、1980年10月)

長野県教育委員会『第21次同和教育研究指定校報告書(昭和53・

54年度)』(同上、1980年10月)

龍谷大学同和教育研究委員会『和歌山県有田郡吉備町調査報告(3)

—勤務評定闘争と部落問題』(同問題研究資料(Ⅲ) <

(同上、1980年10月)〕

奈良県解放教育研究会『むなつき坂を越える』(奈良県解放研通

信№3) (同上、1980年11月)

林竹二「学校教育をとり戻すために」

(筑摩書房、1980年11月)

梅田修「同和教育研究の動向と今日の課題」

〔『部落問題研究』六六号、1980年12月)〕

【人権】

武者小路公秀「八〇年代の国際社会と人権」

〔『部落解放』一五九号、1月)〕

〈国内被差別人民からの訴え〉(『部落解放』一六〇号、1月)

李仁夏「民族差別の実態と被差別者集団の連帯」

新崎盛暉「琉球弧の島々から—奄美・沖縄のかかえる課題」

豊岡喜一郎「日本国土におけるアイヌ民族の足跡」

結城庄司「『アイヌ勘定』という差別」

楠敏雄「障害者差別の実態と八〇年代に於ける運動の課題」

粕公照美「国連婦人世界会議の成果と今後の課題」

飯沼二郎「滋賀県の公立学校教員と国籍条項」

〔『解放教育』一三二号、1月)〕

住田一郎「釜ヶ崎における就労問題」(同右)

楠敏雄「国際児童年と私(1)―「健常者」中心の社会に生命がけ

て生き続けて」(『はらっぱ』十四号、1月)〕

坂上優子「女性解放講座14―性別分業意識を強化する教科書」

(同右)

鈴木健策「人権擁護事務と主な施策」

〔『法律のひろば』三四巻一、1月)〕

高杉晋吾「障害者は人間の誇りに輝やく(その2)―白昼の暗黒

―大久保製塩」(『新日本文学』四〇一、1月)〕

押川文字「独立後インドの指定カースト・指定部落政策の展開」

〔『アジア経済』二二巻一、1月)〕

安川寿之輔「被差別部落女性史の構想」(『一九八〇/八一年現

在』七号、女性問題研究会、1月)〕

〈特集〉「性差別撤廃条約と中間年世界会議」

〔『婦人問題懇話会会報』三三三号、1月)〕

日高六郎「平和と人権と教育」(『第五回部落解放東日本講座講

演集』所収、部落解放研究所、1月)〕

丸木俊「ひろしま・南京・アウシュヴィッツ・水俣・原発」

(同右)

さねとうあきら「児童文学と人権」(『第五回部落解放西日本講

座講演集』所収、部落解放研究所、1月)〕

梅田義光「真犯人よ聞いてくれ―梅田事件被告の手記」

(朝日新聞社、1月)〕

真鍋栄「私はアリバイのある死刑囚」(汐文社、1月)

和島岩吉「完全なる冤罪―徳本事件」(解放出版社、1月)

部落解放研究所『日本における差別と人権』(増補改訂版)

(解放出版社、1月)〕

日本の学校に在籍する朝鮮人児童・生徒の教育を考える会『むく

げ―大阪の在日朝鮮人教育十年の歩み』(亜紀書房、1月)〕

桃山学院大学人権委員会『定住外国人の人権』(同上、1月)

国際児童年を機に子どもたちの権利を実現する大阪連絡会・大阪保育

運動研究会『いま、保育所の子どもたちは』

(大阪保育運動研究会、1月)〕

再審法改正を求める大阪府民の会事務局「再審法改正を求める大

阪府民の会結成される」(『部落解放研究』二四号、2月)〕

〈特集〉「国際人権シンポジウム(上)」

〔『部落解放』一六一号、2月)〕

〈シンポジウム①諸外国から見た日本の部落問題〉

原田伴彦「部落差別の実態と課題」

ロジャー・ヨシノ「アメリカでの差別撤廃のとりくみと部落問題」

カトリヌ・カドゥ「フランス女性から見た部落問題」

ポパトラオ・P・ガルド「部落問題解決への道」

マーチン・カネコ「ドイツ語圏における部落問題紹介の問題点」

《シンポジウム②諸外国における差別の実態と人権擁護の課題》

ロジャー・ヨシノ「アメリカにおける差別と人権擁護」

カトリヌ・カドゥ「フランスにおける差別と人権」

ポパトラオ・P・ガルド「インドにおけるマイノリティの問題」

マーチン・カネコ「オーストリアのローマ（ジプシー）」

原田伴彦「日本における差別と人権」

《特集》「国際障害者年を機に」(「解放教育」一三三号、2月)

山下恒男「国際障害者年の背景―歴史性と現状」

佐藤三郎「アメリカにおける障害者差別撤廃令―その教育的意味」

津田道夫「未来像を見ずして、今何をなすべきか―障害者教育運動の立場から」

楠 敏雄「自立と完全参加を求めて」

石神 互「赤堀さんのたたかについて―専門家の自己疎外という観点から」

東京東部労働組合大久保製薬支部「悪らつな障害者虐待に抗議して」

西岡 務「障害者の労働権奪還の闘いをすすめるにあたって」

梅谷明子「尚司の参加」

川端利彦「児童精神医療と教育」

金 贊汀「賢一君は差別の中で死に追い込まれた」(同右)

和島若吉「再審法改正の問題をめぐって」(同右)

村田 拓「八〇年の国勢調査は国民総背番号制そのもの」(同右)

堀 勝子「(人間の記録) 自立生活の中での自分との葛藤」(同右)

編集部「女と仕事9―なかがいるから」(同右)

法務省人権擁護局「人権侵犯事件から見た人権擁護の現状」

(「人権通信」八九号、2月)

太田高一「人権擁護委員と同和問題」(同右)

李構大(書評) 後藤昌次郎編『無実・冤罪事件に関する12章』

(「新日本文学」四〇二号、2月)

《主題》「社会構造としての性差別」

(「思想の科学」一二七号、2月)

石田玲子「氏・戸籍・国籍を問う―女と外国人の視点から」

ほか

《特集》「婦人問題と社会教育」

(「月刊社会教育」二八六号、2月)

内閣総理大臣官房婦人問題担当室『国連婦人の十年世界会議―国連婦人の十年後半期行動プログラム』(大蔵省印刷局、2月)

戦本三千年「国際障害者年の基本的問題」

(「部落解放研究」二五号、3月)

楠 敏雄「障害者の完全参加と平等を」(同右)

平沢 徹「部落の障害者の実態と国際障害者年」(同右)

部落解放研究所人権部会事務局「プライバシーの法的保護に関するOECDの勧告について」(同右)

《特集》「国際人権シンポジウム(下)」

(「部落解放」一六三号、3月)

《大阪記念集会》

ロジャー・ヨシノ「世界の人権と日本の部落問題」

上杉佐一郎「部落差別の現状と日本の人権」

《東京集会》

武者小路公秀「八〇年代の国際社会と人権」

ロジャー・ヨシノ「外国から見た日本の部落問題」

宮崎繁樹「日本における差別と人権」

《(インタビュ) 国際シンポ・ゲストメンバ―に聞く》

ロジャー・ヨシノ「部落差別に日本人は本当には気づいていません」

ポパトラオ・ガルド「差別がおこればすべてをすてて闘います」

カトリヌ・カドゥ「部落差別と女性差別はよく似ています」

マーチン・カネコ「日本が好きだからこそ部落問題を研究します」

《シンポジウムを終えて》

和島若吉「国際人権シンポジウムの歴史的意義」

村越末男「部落解放の新たな展開の第一歩」

友永健三「国際人権シンポジウムの経過と課題」

加藤重二「劣悪な生活環境に驚きの声が―国際シンポ・ゲストメンバ―が大坂の和泉・浅香部落を視察」(同右)

佐々木哲蔵(「追悼」青木英五郎さんを偲ぶ)(同右)

兵庫在日朝鮮人教育を考える会「兵庫県差別国籍条項撤廃闘争の歩み」(「ひょうご部落解放」創刊号、3月)

波平勇夫「沖繩の混血児たち」(「解放教育」一三三号、3月)

福井達雨「子どもたちと行きたい南の国へ」(同右)

青山直人「被差別民衆」の国際的連帯を―国際人権シンポジウムから」(同右)

ファトヒ・アブドルハミード「(人間の記録) 祖国と人間の解放を求めて(1)」(同右)

杉本昭典「インド探訪記(その1)―インドの被差別カーストの人たち」(「兵庫の部落解放史」四号、3月)

《特集》「養護学校義務化から二年」

(「福祉労働」十号、3月)

山下恒男「差別の心的構造」(第十回)―差別・偏見の心理学的研究の背景と流れ・アメリカの場合」(同右)

姫岡和夫「国際障害者年を機に『障害者』の自立と完全参加を求め大阪連絡会議」(同右)

篠原睦治「『みんな一緒に学校へ行くんや』―普通」学級で学ぶ「障害」児教育の実践―既成の専門家意識を問い直された教師自身の成長の記録」(「朝日ジャーナル」二三卷十一号、3月)

《特集》『婦人の解放』（『労働運動研究』一三七号、3月）
 柴山惠美子「婦人解放をめざすイタリア左翼の実践を視る」
 はか

《特集》『婦人行動計画のとりくみ』

（『月刊社会教育』二八七号、3月）

日本弁護士連合会「男女雇用平等法要綱草案」

（『自由と正義』三二巻三号、3月）

釜田泰介「性による区分と法の平等保護—アメリカ最高裁判所

一九七〇—一九八〇」（『同志社アメリカ研究』十七号、3月）

関西婦人労働問題研究会「婦人に対するあらゆる形態の差別撤廃

条約の批准にむけて」（同上、3月）

佐藤友之・真壁貞『冤罪の戦後史』（図書出版社、3月）

小出正夫『ドキュメント四日市冤罪事件』（主婦の友社、3月）

正木ひろし『冤罪の証明』（旺文社文庫）（旺文社、3月）

松原市立部落解放センター『障害児者と人権—国際障害者年を機

に』（同上、3月）

鴨 良弼編『刑事再審の研究』（成文堂、1980年10月）

滋瀨 緑『ヨーロッパ諸国における女性の実態と婦人団体の活動』

（『社会問題研究』八六号、大阪社会事業短期大学、1980

年10月）

森川哲郎『新版帝銀事件』（三一書房、1980年10月）

【社会啓蒙】

松本 弘「隣保館（解放会館）活動の現状と課題」

（『部落解放』一六〇号、1月）

駒井昭雄・中川喜代子・太田善照「差別意識の状況と社会啓蒙の課題」（同右）

埼玉県教育局同和教育課「地域ぐるみの同和教育—社会同和教育事例集（昭和五五年度）」（同上、1月）

東上高志「講座・これからの同和教育9—部落問題の学習（その6）社会教育（上）」（『部落』四〇二号、2月）

北九州同和对策推進協議会「論集いぶき1」（同上、2月）

高石市・高石市教育委員会「わたしにもいわせて—人権作文集第六集」（同上、2月）

東上高志「講座・これからの同和教育10—部落問題の学習（その7）社会教育（下）」（『部落』四〇三号、3月）

同和教育問題企業啓発講座実行委員会「第一回同和教育問題企業啓発講座報告書」（同上、3月）

高石市・高石市教育委員会「人権尊重のまちづくりを市民の手

で—」同和教育市民学習シリーズ第七集」（同上、3月）

東大阪市人権啓発協議会ほか「昭和56年度東大阪市社会教育関係者「人権問題研修会」講演集録」（同上、1980年12月）

（『文化・思想』

創る—みんなで作る文化のページ』

（『部落解放』一五九号、1月）

材木貞子「差別のなかを生きて—はたらくのは、いっちゃん苦

にならん—その①識字のはじめての火」（同右）

（『詩部門佳作作品

（応募作品一覧表）

編集部「女と仕事10—運動にかけて」

（『解放教育』一三三三号、3月）

北川鉄夫「文化問題の正と負」（『部落』四〇三号、3月）

沖浦和光「日本文化史における賤民文化の位置①—部落差別の根

底にある賤視観・思想・文化闘争の方向性」

（『解放新聞』一〇二〇号、3月）

西村ノリ子（書評）『部落解放詩集』太陽もおれたちのものでは

ないのか」（『新日本文学』四〇三号、3月）

黒古一夫（書評）植見鮮一郎著『黄色い国の脱出口』『告別の

儀式』（『季刊文学的立場』三三三号、3月）

野間 宏「わが体験わが文学—物語の全体Ⅱ・見ることのりこ

えの弁証をめざして」（『第三文明』二二九九号、3月）

住井すえ「橋のない川」〈第一部〉〈第二部〉

（新潮文庫、3月）

十川信介「二つの破戒」

（『島崎藤村』所収、筑摩書房、1980年11月）

【宗教】

原田伴彦「宗教と部落問題③—心と命を傷ける差別」

（『南御堂』二二二二号、1月）

山本尚友「寺院と僧侶—その教育とのかかわり」

（『京都部落史研究所報』三八号、2月）

《特集》『婦人の解放』（『労働運動研究』一三七号、3月）
 柴山惠美子「婦人解放をめざすイタリア左翼の実践を視る」
 はか

《特集》『婦人行動計画のとりくみ』

（『月刊社会教育』二八七号、3月）

日本弁護士連合会「男女雇用平等法要綱草案」

（『自由と正義』三二巻三号、3月）

釜田泰介「性による区分と法の平等保護—アメリカ最高裁判所

一九七〇—一九八〇」（『同志社アメリカ研究』十七号、3月）

関西婦人労働問題研究会「婦人に対するあらゆる形態の差別撤廃

条約の批准にむけて」（同上、3月）

佐藤友之・真壁貞『冤罪の戦後史』（図書出版社、3月）

小出正夫『ドキュメント四日市冤罪事件』（主婦の友社、3月）

正木ひろし『冤罪の証明』（旺文社文庫）（旺文社、3月）

松原市立部落解放センター『障害児者と人権—国際障害者年を機

に』（同上、3月）

鴨 良弼編『刑事再審の研究』（成文堂、1980年10月）

滋瀨 緑『ヨーロッパ諸国における女性の実態と婦人団体の活動』

（『社会問題研究』八六号、大阪社会事業短期大学、1980

年10月）

森川哲郎『新版帝銀事件』（三一書房、1980年10月）

【社会啓蒙】

松本 弘「隣保館（解放会館）活動の現状と課題」

（『部落解放』一六〇号、1月）

駒井昭雄・中川喜代子・太田善照「差別意識の状況と社会啓蒙の課題」（同右）

埼玉県教育局同和教育課「地域ぐるみの同和教育—社会同和教育事例集（昭和五五年度）」（同上、1月）

東上高志「講座・これからの同和教育9—部落問題の学習（その6）社会教育（上）」（『部落』四〇二号、2月）

北九州同和对策推進協議会「論集いぶき1」（同上、2月）

高石市・高石市教育委員会「わたしにもいわせて—人権作文集第六集」（同上、2月）

東上高志「講座・これからの同和教育10—部落問題の学習（その7）社会教育（下）」（『部落』四〇三号、3月）

同和教育問題企業啓発講座実行委員会「第一回同和教育問題企業啓発講座報告書」（同上、3月）

高石市・高石市教育委員会「人権尊重のまちづくりを市民の手

で—」同和教育市民学習シリーズ第七集」（同上、3月）

東大阪市人権啓発協議会ほか「昭和56年度東大阪市社会教育関係者「人権問題研修会」講演集録」（同上、1980年12月）

（『文化・思想』

創る—みんなで作る文化のページ』

（『部落解放』一五九号、1月）

材木貞子「差別のなかを生きて—はたらくのは、いっちゃん苦

にならん—その①識字のはじめての火」（同右）

（『詩部門佳作作品

（応募作品一覧表）

編集部「女と仕事10—運動にかけて」

（『解放教育』一三三三号、3月）

北川鉄夫「文化問題の正と負」（『部落』四〇三号、3月）

沖浦和光「日本文化史における賤民文化の位置①—部落差別の根

底にある賤視観・思想・文化闘争の方向性」

（『解放新聞』一〇二〇号、3月）

西村ノリ子（書評）『部落解放詩集』太陽もおれたちのものでは

ないのか」（『新日本文学』四〇三号、3月）

黒古一夫（書評）植見鮮一郎著『黄色い国の脱出口』『告別の

儀式』（『季刊文学的立場』三三三号、3月）

野間 宏「わが体験わが文学—物語の全体Ⅱ・見ることのりこ

えの弁証をめざして」（『第三文明』二二九九号、3月）

住井すえ「橋のない川」〈第一部〉〈第二部〉

（新潮文庫、3月）

十川信介「二つの破戒」

（『島崎藤村』所収、筑摩書房、1980年11月）

【宗教】

原田伴彦「宗教と部落問題③—心と命を傷ける差別」

（『南御堂』二二二二号、1月）

山本尚友「寺院と僧侶—その教育とのかかわり」

（『京都部落史研究所報』三八号、2月）

《特集》『婦人の解放』（『労働運動研究』一三七号、3月）

柴山惠美子「婦人解放をめざすイタリア左翼の実践を視る」

はか

《特集》『婦人行動計画のとりくみ』

（『月刊社会教育』二八七号、3月）

日本弁護士連合会「男女雇用平等法要綱草案」

（『自由と正義』三二巻三号、3月）

釜田泰介「性による区分と法の平等保護—アメリカ最高裁判所

一九七〇—一九八〇」（『同志社アメリカ研究』十七号、3月）

関西婦人労働問題研究会「婦人に対するあらゆる形態の差別撤廃

条約の批准にむけて」（同上、3月）

佐藤友之・真壁貞『冤罪の戦後史』（図書出版社、3月）

小出正夫『ドキュメント四日市冤罪事件』（主婦の友社、3月）

正木ひろし『冤罪の証明』（旺文社文庫）（旺文社、3月）

松原市立部落解放センター『障害児者と人権—国際障害者年を機

原田伴彦「宗教と部落問題②—新宗教の諸教団でも差別的姿勢」
 (『南御堂』二二三号、2月)
 真宗大谷派大阪教区同和協議会「解放運動よりみた日本の現況
 (同和研修会記録Ⅲ)」(同上、2月)
 増田史郎亮「浦上四番崩れ事件前史—部落民・キリシタン・神道
 ・仏教者と奉行所との諸關係をめぐって(その一)」
 (『ながさき部落解放研究』二号、3月)
 原田伴彦「宗教と部落問題③—本願寺教団の部落問題への取り組み」
 (『南御堂』二二四号、3月)

【通史】

林 虎雄・奈良本辰也・山浦六雄ほか「へ座談会」発足した信州
 農村開発史研究所—課題とその抱負」
 (『解放教育』一三二号、1月)
 師岡佑行「近世八幡志水東村の商業活動と七人株のいわれ」
 (『京都部落史研究所報』三七号、1月)
 盛田嘉徳「あの人この人②」
 (『解放新聞』大阪版、四三九号、1月)
 糸若柳子「泣きながらいうた—この人に聞く⑤」(同右)
 植松安太郎「松本治一郎—インターナショナルな義人」
 (『現代の眼』二五三号、1月)
 井上 清「よこがお」解放の歴史求め続ける—井上清(歴史家)
 さんにきく」(『解放新聞』一〇〇六号、2月)
 寺本 知「冬の時代を生きた人—故中野次夫氏のおもいでから」

【前近代】

原田伴彦「(本の紹介)埼玉県教育委員会編『鈴木家文書解説』
 (『部落解放』一五九号、1月)
 落合重信「部落の起源(第七回)」
 (『月刊部落問題』五〇号、1月)
 横井清・沖浦和光・土方鉄「賤民史—その忘れられた側面①②」
 (『解放新聞』一〇三号、一〇四号、1月)
 深谷克己「近世史研究と身分」(『歴史評論』三六九号、1月)
 小林 茂「(書評)三好昭一郎著『被差別部落の形成と展開』」
 (『部落解放研究』二四号、2月)
 落合重信「部落の起源(第八回)」
 (『月刊部落問題』五一号、2月)
 沖浦和光・横井清・土方鉄「賤民史—その忘れられた側面(終)」
 (『解放新聞』一〇六号、2月)
 横井 清「穢れの世界—中世社会の一断面」
 (『季刊創造の世界』三七号、2月)
 池見澄隆・上山春平・梅原猛・作田啓一・宮田登・横井清「日本
 における浄、不浄観」(同右)
 高柳金芳「江戸時代非人の生活」(『生活史叢書』21)
 (雄山閣出版、2月)
 中尾健次「近世における差別意識の構造」
 (『部落解放研究』二五号、3月)
 姫野順一「島原藩における被差別部落の歴史について」

(『解放新聞』大阪版、四四三号、2月)
 荒井貢次郎「歴史学への新視点(1)—部落史研究への提言」
 (『歴史手帖』八八号、2月)
 梅本光男「浦上水平社の闘いと今日の課題」
 (『ながさき部落解放研究』二号、3月)
 和島岩吉「よこがお」冤罪について怒り—和島岩吉(弁護士)
 さんにきく」(『解放新聞』一〇二〇号、3月)
 左海玉之助「つらかったニカワ工場—この人に聞く⑥」
 (『解放新聞』大阪版、四四七号、3月)
 米田富・井元麟之「へ座談会」闘争と弾圧」
 (『狭山差別裁判』八八号、3月)
 藤野 豊「(地方行政論の人物と思想)留岡幸助—報徳は天祝也」
 (『日本の地方自治論—歴史と群像』へ『地方自治職員研修』
 臨時増刊号』六号、3月)
 熊沢徹郎「随想『部落差別と朝鮮人差別』」(『喝—美馬敏男先
 生退職記念誌』所収、美馬敏男先生退職記念誌出版委員会、3
 月)
 故山口春信さん、故中野次夫さん追悼集実行委員会「故山口春
 信さん、故中野次夫さんをしのぶ」(同上、3月)
 飯山市教育委員会「飯山の部落史(第一集)」
 (同上、1980年10月)
 成沢英雄「私のおいち—信濃同仁会と出会うまで」
 (『部落問題年報』二号、1980年12月)

(『ながさき部落解放研究』二号、3月)
 細辻吉弘「近世賤民制成立に関する一試論」
 (『兵庫の部落解放史』四号、3月)
 田中秀夫「(史料紹介)多紀郡日置村波部家文書(その3)」
 (同右)
 大森久雄「(動向)研究・前近代社会の構造のなかで地域の身分
 制—第18回部落問題研究者全国集会・歴史I(前近代)分科
 会より」(『部落』四〇三号、3月)
 落合重信「部落の起源(第九回)」
 (『月刊部落問題』五二号、3月)
 師岡佑行「天明年間伏見騒動にみる身分引上げの問題—歴史にお
 けるパラドックス」(『京都部落史研究所報』三九号、3月)
 松尾剛次「天皇支配権と中世非人支配」
 (『日本歴史』三九四号、3月)
 網野善彦・神島二郎・深谷克己「へ鼎談」平民・民衆・住民の面
 構え」(『日本の地方自治論—歴史と群像』へ『地方自治職員
 研修』臨時増刊号』六号、3月)
 井沢武大「いわゆる『人種起源説』について」(『喝—美馬敏男
 先生退職記念誌』所収、美馬敏男先生退職記念誌出版委員会、
 3月)
 八切止夫編「全国日本部落史料」(日本シエル出版、3月)
 福岡部落史研究会「筑前国草座記録(上巻)」(『部落解放史史料
 叢書』1) (同上、3月)
 粟田豊三郎「埋草資料慶応三年非人関係文書」

- (『民間伝承』三一七号、六人社、1980年2月)
南王子村文書刊行会『大阪府南王子村文書』第五巻
(部落解放研究所、1980年3月)
佐藤俊策「近世佐渡の非人に関する若干の資料」
(『新潟県部落史研究』三三三号、1980年5月)
辻村輝彦「中世八尾城の所在について―八尾城西郷説批判」
(『八尾市史紀要』七号、八尾市教育委員会、1980年9月)
大塚正文「熊本県部落解放史」
(『熊本県未解放部落史研究』五集、1980年10月)
(史料)「被差別部落史関係史料(細川家文書)」(同右)
藤本清二郎「芸州における近世賤民の系譜と編成―河野団左衛門家『由緒書』を中心として」(『史学研究』五十周年記念論叢(日本編)』所収、福武書店、1980年10月)
畑中敏之「前近代『部落』史研究をめぐる諸問題―一九七九年・その成果と課題」(『部落問題研究』六六号、1980年12月)
高市光男「(資料)宇和島藩における穢多の歎願事件史料(上)」(同右)
森 杉夫「近世部落の成立と生活―堺の被差別部落を中心として」(古文書調査研究会、1980年)
【近現代】
寺田政幸「兵庫における戦後部落解放運動のあゆみ(15)―西宮の『窓口一本化』紛争闘争(上)」
(『月刊部落問題』五〇号、1月)

- 大源 実「岡山県の部落解放運動の歴史と現状」(『第五回部落解放西日本講座講演集』所収、部落解放研究所、1月)
上杉 聰「『解放令』研究史について―『解放令』の成立過程の研究』の補遺として」(『部落解放研究』二四号、2月)
徳永高志「(研究ノート)都市部落の生成をめぐって」
(『月刊部落問題』五一号、2月)
寺田政幸「兵庫における戦後部落解放運動のあゆみ(16)―西宮の『窓口一本化』紛争闘争(下)」(同右)
八木晃介「(書評)石田郁夫『差別と排外・卒伍への出発』」
(『新日本文学』四〇二号、2月)
西 順蔵編『東京の被差別部落』(明石書店、2月)
渡辺俊雄「(人権講演)『同和対策事業特別措置法』ができるまでの歴史」(和泉市立解放総合センター、2月)
小林 茂「(書評)高田寛明著『つづられた差別の町―近代・姫路ある部落の歴史』」(『ひょうご部落解放』創刊号、3月)
安達五男「(書評)小林茂著『部落『解放令』の研究』」(同右)
藤沢秀雄「(行政用語)『同和』の由来について」
(『ながさき部落解放研究』二二号、3月)
藤沢秀雄「長崎水平社時代の部落解放運動(その一)」(同右)
安達五男「(学制的実施と『身分学校』のめばえ―身分学校形成の史的検討)」(『兵庫の部落解放史』四号、3月)
小林末夫「(ケ浜事件)によせて―書くことの恐しさ」
(『月刊部落問題』五二号、3月)

- 沖浦和光「近代日本の思想と社会運動21―(第20章)米騒動と被差別部落民の決起・水平社の結成にむかって」
(『おぼろ』三五号、3月)
原田伴彦・大串夏身「(対談)近代部落史の研究をめぐって」
(『明石』二二号、明石書店、3月)
渡部 徹「(書評)大串夏身著『近代被差別部落史研究』―近代部落史研究に新地平をひらく」(同右)
西 順蔵「(編者のことば)西順蔵編『東京の被差別部落』―差別の現実がある限り、私たちは、その解決にむかって努力しなければならぬのである」(同右)
松浦利貞「(解説)東京被差別部落史研究―戦後における東京の部落史研究の成果と問題点」(同右)
部落解放研究所『差別糾弾・行政闘争』(部落解放運動基礎資料集第四巻) (部落解放同盟中央本部、3月)
石井良助「明治四年の賤民解放令をめぐって」
(『歴史と地理』二九五号、1980年3月)
木下 浩「平野重吉(小剣) 略年譜」
(『新潟県部落史研究』三三三号、1980年5月)
木下 浩「新潟県における大正期・昭和初期の部落問題」(同右)
中野富夫「(論文紹介)工藤英一『森知幾と私立明治学校』」(『福音と世界』第三四巻一〇号) (同右)
白石正明「上田静一と田中親友夜学校(1)―部落の動きと呼応して夜学創設」(『京都部落史研究所報』三三三号、1980年9月)

- 姫井伊介「人は人」(複製)
(『熊本県未解放部落史研究』五集、1980年10月)
森山沾「(資料解題)『人は人』」(同右)
尾川昌法「近代部落史研究の成果と課題」
(『部落問題研究』六六号、1980年12月)
藤野 豊「(地方融和団体の理論と運動)神奈川清和会の検討」
(『部落問題年報』二二号、1980年12月)